

平成22年度百人委員会スタート!



町長から委嘱状を受け取る若良二副学長

3年目を迎えた今年度の百人委員会出発式が6月1日、智頭町総合センターで開催されました。今年の百人委員会は、昨年までに町へ提案された企画33項目のうち、まちづくり交付金などを活用したプロジェクト8項目を今年度からさらに進めて行くこととなります。出発式では、町長から「住民と行政が協働してまちづくりを進めるべき」との挨拶の後、委員を代表して、昨年まで商工・観光部会で活動していた米井照世さんに任命書を手渡しました。任命書を受け取った米井さんから「任命書を励みに足を地につけて頑張りましょう」とのコメントがありました。

次に、「智頭米を活かした国際貢献」のプロジェクトを進めている教育・文化部会が講演を依頼したことがきっかけで、様々なアドバイスをいただいた鳥取大学副学長で国際交流センター長の若良二教授へ百人委員会アドバイザーとして町長から委嘱状を手渡しました。

この後は、出席した委員で全体会を開き、昨年度の各部会長からプロジェクト8項目の概要説明を行い、今年度の運営のあり方などについて意見交換を行いました。その結果、今年は委員全員が各部会の活動の様子を共有するために、定期的に全体会を開くことを確認しました。

智頭町百人委員会企画プロジェクト事業一覧

H22.6.1

企 画		企 画	
1	「智頭弁」食キング (商工・観光部会)	5	智頭農林業の再構成プロジェクト (農林業部会)
2	「いとし★うるわし★田舎暮らし」 ～不便を日本一楽しお智頭からの贈りもの～ (商工・観光部会)	6	国際貢献を通じた人材育成 (智頭米を活かした国際貢献) (教育・文化部会)
3	「智頭みんさいな本舗」 ～智頭町の今がわかる!すべてがわかる!情報発信基地～ (商工・観光部会)	7	郷土由縁の作家「米原万里展」の開催 (教育・文化部会)
4	智頭環境プロジェクト事業 ～世界の子どもたちにフクチンを届けよう～ (生活・環境部会)	8	森のようちえん事業 (教育・文化部会)

智頭米を活かした国際貢献プロジェクト【アフリカに米を贈る田植え】

智頭の子どもたちとボランティアで作った米をアフリカの孤児院に贈ることで、子どもたちに他人を思いやり、感謝をする心を養い、また広い視野を持ってもらいたいと、国際貢献をテーマにした「コントリビューションの会」が昨年スタートしました。そして、米の贈り先も、アフリカのケニアの孤児院「マトマイニ・チルドレンズ・ホーム」に決まり、その田植えが5月29日に地元小学生やボランティアの方、鳥取大学留学生など約90人が参加して行なわれました。



田んぼを提供してくださったのは、坂原集落の平尾忠美さんで、2枚の田んぼ(15アール)に参加者が別れ、今ではほとんど見られなくなった手植えに挑戦しました。

当日は、全員で開会式を行い、代表の米本ゆかりさんからの挨拶の後、ケニア協会の大野理事長から、ケニア国旗の意味などを交えたお話をいただきました。その後はいよいよ田植えがスタートです。田植えが初めての子どもたちでしたが、坂原集落の方に指導をしていただきながら、午前中には青々とした苗がきれいに植まりました。

そして、鳥大留学生による「アフリカの田んぼ」の手書き看板も完成し、畦に立てて田植えの終了です。昼食は、赤十字奉仕団の皆さんや、山形のボランティアの女性によるおにぎりや山菜料理で交流会を行い、和気あいあいと楽しく過ごしました。

秋には本日の参加者で収穫し、ケニアに米を贈ることが実現するものと思いますが、智頭の子どもたちとケニアの子どもたちの心の交流に繋がって行くことを期待しています。



森林セラピー

平成23年度 グランドオープンに向けた取り組み

来年度のグランドオープンに向け、5つの部会に分かれ、各職員の方々を中心にアイデアを出し合い、準備を進めています。また、芦津溪谷のセラピーロードの整備や、トイレ設置など、施設の整備も併せて取り掛かる計画となっております。智頭町の豊かな森を活かし、森林セラピーに求められる方々に癒しを与えられる環境づくりに取り組んでいます。今回は、各部会の取り組み内容と施設の整備計画を紹介します!

「食」検討部会
智頭町らしさ、体によい食事をとっていただくため、健康を考えた弁当やランチのメニューの研究をしています。カロリーや塩分などに一定の基準を設け、80%以上を地元で取れた食材を使うなど、智頭町独自の食事づくりを目指しています。今後、民泊協議会とも連携して夕食メニューなども考えていきます。

体験プラン 「森の活用」検討部会
保健・医療の分野で、人間ドック&森林セラピーのモニターツアーを実施しています。今後は住民の方にも参加していただいているモニターツアーも計画しています。



森林セラピスト・インナー・養成部会
森のガイドの養成を行っています。現在22名のガイドが認定され、「森のガイドの会」を創設し、モニターツアー等での実践練習や、ガイド3名が森林セラピストササエティーの実施する全国規模の森林セラピスト養成講座も受講しました。今後ガイドの養成を行いながら、案内板の設置や、コース内の間伐材の処理、セラピーロードの整備なども進めていきます。



「宿泊」検討部会
森林セラピーの宿泊者の受け入れとして、民泊を進めていきます。民泊協議会を立ち上げ、民泊体験モニターをしながら料金や「食」検討部会と連携し、夕食のメニューの研究を行っています。民泊を受けてくださる方がありましたら、ご連絡ください。

森林セラピー 普及・広報・営業部会
森林セラピーについてよりよく知っていただくために、講演会の開催やパンフレット、ポスターの作成を行っています。町内外の方を対象にモニターツアーを通して、森林セラピーを理解していただきます。

平成22年度 森林セラピー事業 施設整備計画 (芦津トレッキングコース)

